

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成28年1月14日 (2016.1.14)

【公開番号】特開2014-106994(P2014-106994A)

【公開日】平成26年6月9日 (2014.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2014-030

【出願番号】特願2012-260592(P2012-260592)

【国際特許分類】

G 1 1 B 27/00 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

H 0 4 N 5/92 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 27/00 D

G 1 1 B 20/10 F

H 0 4 N 5/91 P

H 0 4 N 5/92 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月20日 (2015.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

データ記録用のメディアを処理するメディア処理装置において、
前記メディアの記録および再生を行う記録再生部と、
データ記録済みの複数のメディアを格納する格納部と、
前記格納部に格納されたデータ記録済みの複数のメディアを、前記記録再生部に各々再生させて、メディアイメージデータを原本データとして抽出し複数の原本データを一括作成する制御部と、
一括作成された前記複数の原本データを記憶する記憶部と
を備えることを特徴とするメディア処理装置。

【請求項 2】

前記メディアイメージデータは、複数のデータを所定フォーマットで 1 つのファイルにまとめたデータであることを特徴とする請求項 1 に記載のメディア処理装置。

【請求項 3】

前記制御部は、記憶された前記複数の原本データのうち、選択された原本データを、前記記録再生部によって前記メディアに記録させる処理を実行することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のメディア処理装置。

【請求項 4】

前記制御部は、前記原本データを管理する管理用データを作成することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載のメディア処理装置。

【請求項 5】

前記管理用データは、前記原本データのパス名を前記メディアの再生順で記述したテキストファイル形式のデータであることを特徴とする請求項 4 に記載のメディア処理装置。

【請求項 6】

前記制御部は、前記管理用データに基づいて複製対象の原本データの選択を受け付け、複製対象の原本データが複数の場合には、選択された各原本データを、前記メディア毎に順に記録させることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載のメディア処理装置。

【請求項 7】

データ記録用のメディアの記録および再生を行う記録再生部と、データ記録済みの複数のメディアを格納する格納部とを有する電子機器を制御する制御装置において、

前記格納部に格納されたデータ記録済みの複数のメディアを、前記記録再生部に各々再生させて、メディアイメージデータを原本データとして抽出し複数の原本データを一括作成する制御部と、

一括作成された前記複数の原本データを記憶する記憶部とを備えることを特徴とする制御装置。

【請求項 8】

前記メディアイメージデータは、複数のデータを所定フォーマットで 1 つのファイルにまとめたデータであることを特徴とする請求項 7 に記載の制御装置。

【請求項 9】

前記制御部は、記憶された前記複数の原本データのうち、選択された原本データを、前記記録再生部によって前記メディアに記録させる処理を実行することを特徴とする請求項 7 又は 8 に記載の制御装置。

【請求項 10】

データ記録用のメディアの記録および再生を行う記録再生部と、データ記録済みの複数のメディアを格納する格納部とを有する電子機器を制御するコンピューターにより実行される制御プログラムであって、

前記コンピューターを、

前記格納部に格納されたデータ記録済みの複数のメディアを、前記記録再生部に各々再生させて、メディアイメージデータを原本データとして抽出し複数の原本データを一括作成させる手段と、

一括作成された前記複数の原本データを記憶部に記憶させる手段と、して機能させることを特徴とする制御プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するために、本発明は、データ記録用のメディアを処理するメディア処理装置において、前記メディアの記録および再生を行う記録再生部と、データ記録済みの複数のメディアを格納する格納部と、前記格納部に格納されたデータ記録済みの複数のメディアを、前記記録再生部に各々再生させて、メディアイメージデータを原本データとして抽出し複数の原本データを一括作成する制御部と、一括作成された前記複数の原本データを記憶する記憶部とを備えることを特徴とする。

この構成によれば、複数のメディアからメディアイメージデータを原本データとして各々抽出し、複数の原本データを一括作成するので、複製用の多数の原本データを所望のタイミングで容易かつ短時間で作成することができる。これによって、複数のメディアに記録されるデータを、複製に好適なデータで一元管理することが可能になる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、上記構成において、前記メディアイメージデータは、複数のデータを所定フォーマットで1つのファイルにまとめたデータであっても良い。この構成によれば、この原本データを用いることにより、完全な複製を容易に作成することができる。

また、上記構成において、前記制御部は、記憶された前記複数の原本データのうち、選択された原本データを、前記記録再生部によって前記メディアに記録させる処理を実行しても良い。この構成によれば、複製時に複製元ディスクを用意する必要なく、複製メディアを作成することができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本発明は、データ記録用のメディアの記録および再生を行う記録再生部と、データ記録済みの複数のメディアを格納する格納部とを有する電子機器を制御する制御装置において、前記格納部に格納されたデータ記録済みの複数のメディアを、前記記録再生部に各々再生させて、メディアイメージデータを原本データとして抽出し複数の原本データを一括作成する制御部と、一括作成された前記複数の原本データを記憶する記憶部とを備えることを特徴とする。

この構成によれば、複数のメディアからメディアイメージデータを原本データとして各々抽出し、複数の原本データを一括作成するので、複数のメディアに記録されるデータを、複製に好適なデータで一元管理することができる。

また、上記構成において、前記メディアイメージデータは、複数のデータを所定フォーマットで1つのファイルにまとめたデータであっても良い。この構成によれば、この原本データを用いることにより、完全な複製を容易に作成することができる。

また、上記構成において、前記制御部は、記憶された前記複数の原本データのうち、選択された原本データを、前記記録再生部によって前記メディアに記録させる処理を実行しても良い。この構成によれば、複製時に複製元ディスクを用意する必要なく、複製メディアを作成することができる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明は、データ記録用のメディアの記録および再生を行う記録再生部と、データ記録済みの複数のメディアを格納する格納部とを有する電子機器を制御するコンピューターにより実行される制御プログラムであって、前記コンピューターを、前記格納部に格納されたデータ記録済みの複数のメディアを、前記記録再生部に各々再生させて、メディアイメージデータを原本データとして抽出し複数の原本データを一括作成させる手段と、一括作成された前記複数の原本データを記憶部に記憶させる手段と、して機能させることを特徴とする。

この制御プログラムを実行することにより、コンピューターが電子機器を制御して、複数のメディアからメディアイメージデータを原本データとして各々抽出し、複数の原本データを一括作成するので、複数のメディアに記録されるデータを、複製に好適なデータで一元管理することができる。